

令和7年4月

①医師事務作業者の配置による医師の負担軽減（書類作成業務など） ②常勤医師の時間外労働の圧縮による負担軽減（遅番・早番等の時間外含む） ③退院調整業務による医師の業務分担の軽減	R7年4月での現況	
	常勤医師数	8名
	非常勤医師数	15名
	時間外労働	最大2時間、最小1時間発生

項目	現状と課題	今後の対策	達成度の確認		特記事項
			令和5年4月	令和6年4月	
・ 医師事務作業補助者の配置	・ 専門的な知識の向上	・ 各コメディカル部門からの専門的研修を行うことにより更なる医療への理解度（学習）を向上させる。	☑ 80%	☑ 80%	医師事務作業補助者が経験を積んできたため、作業効率が上がっている。
	・ 救急急変時対応及び終末期患者（お看取り）への診療行為が増えており、医師の事務作業（書類作成業務）が増加している。	医師事務作業補助者を増員し、医師が行うオーダーリング作業の負担軽減を行う。当面は、救急患者が増員していることから病棟での作業援助から開始する。	☑ 80%	☑ 80%	増員募集はしているが、現状維持となっている。
・ 常勤医師の残業圧縮	・ 常勤医師による当直勤務の軽減	大学病院との連携、非常勤医師の定期化	☑ 90%	☑ 90%	非常勤医師を定期化することにより、常勤医師の当直をなくした。
	・ 電子カルテの機能の有効活用	個別医師ごとの設定変更等	☑ 80%	☑ 90%	令和6年8月より電子カルテを導入し、作業効率が改善した
・ 退院調整業務の軽減	・ 担当医師、看護師、MSWにより退院調整を行っているが医師の負担が増大している	MSWを増員し、MSWの退院調整の介入比率を上げ医師の負担を圧縮する	☑ 100%	☑ 100%	MSWの増員が完了し負担軽減対策が達成された。